

## 平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホーブ  
 コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 政場 秀  
 (氏名) 吉田 周史

TEL 0166-83-3555

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	3,790	△12.1	19	△71.5	26	△62.6	△30	—
27年6月期第3四半期	4,312	18.0	68	△50.0	70	△55.4	41	△69.6

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 △30百万円 (—%) 27年6月期第3四半期 41百万円 (△69.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	△39.84	—
27年6月期第3四半期	54.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年6月期第3四半期	1,325	—	948	—	71.6	1,245.19
27年6月期	1,310	—	991	—	75.6	1,300.74

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 948百万円 27年6月期 991百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,614	△10.6	32	△3.8	39	1.7	0	△98.7	0.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期3Q	762,000 株	27年6月期	762,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

28年6月期3Q	75 株	27年6月期	75 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	761,925 株	27年6月期3Q	761,925 株
----------	-----------	----------	-----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により緩やかな回復基調が見られましたが、一方で中国をはじめとする新興国経済の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心に、業務用いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,790,103千円(前年同期比12.1%減少)、営業利益19,632千円(前年同期比71.5%減少)、経常利益26,450千円(前年同期比62.6%減少)となりました。なお、繰延税金資産の取崩しがあったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は30,353千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益41,843千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業は、当社と株式会社ホープ21が行っております。その主力商品は業務用いちご果実であります。当第3四半期連結累計期間においては、夏秋期は自社品種である「ペチカプライム」「ペチカサンタ」と輸入いちごを、その後は国産促成いちご(とちおとめ、さがほのかなど)を主に販売しております。

夏秋期におきましては、自社品種の出荷が7月中旬より想定を上回る量で推移したことに加え、8月中旬以降は一転して極端な落ち込みとなったことで、収益に繋げる販売には至りませんでした。

最需要期となるクリスマス期におきましては、秋以降の温暖な環境の影響で、市場へのいちご入荷量が潤沢となったことで、いちご市場相場価格は過去に例がないほどの安値傾向となりました。このため、売上高は前年を下回りましたが、仕入価格の低下により固定価格での販売先に対する利益は確保することができました。

年明け以降は、年内に出荷が前倒し傾向となったことから品薄の状況が続きました。その影響により、いちご市場相場価格は、高値で推移した前年よりもさらに高値となったため、仕入価格が上昇し、利益が大幅に減少することとなりました。

その他青果物につきましては、取扱量の減少により、売上高・利益とも前年を下回ることとなりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は2,613,561千円(前年同期比17.1%減少)、営業利益は50,882千円(前年同期比58.1%減少)となりました。

## (種苗事業)

種苗事業は、当社が自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心とした種苗の生産販売を行っております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年から果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し果実を生産する春定植の概ね2体系の作型があります。その販売は、春定植用苗を中心としており、当第3四半期連結累計期間においては、秋定植用苗の販売を終え、春定植用苗の販売を行っております。苗販売数量は、生産者の高齢化による栽培休止や規模縮小の影響により、若干減少いたしました。

この結果、種苗事業の売上高は31,836千円(前年同期比5.4%減少)、営業利益は3,626千円(前年同期比9.8%減少)となりました。

## (馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、株式会社ジャパンポテトが行っております。主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなり、主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第3四半期連結会計期間におきましては、主に春作種馬鈴薯の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、青果馬鈴薯の販売において、品不足の影響から売上高は前年同期を下回りましたが、主力商品である種馬鈴薯の販売が好調であったことで、馬鈴薯事業全体として売上高、利益とも前年同期を上回ることが出来ました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は1,081,678千円(前年同期比1.0%増加)、営業利益は81,309千円(前年同期比21.8%増加)となりました。

## (運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で当社の商品配送を中核としつつ、一般荷主への配送業務受託を積極的に推進して売上増加を図ってまいりました。また、利益につきましては、自社配送原価を抑制して、提携業者並びに共同配送業者を効率的かつ積極的に運用することで利益の確保に努めてまいりました。この結果、運送事業の売上高は63,026千円(前年同期比10.8%増加)、営業利益は14,378千円(前年同期比44.4%増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の状況

## (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して35,116千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で1,037,601千円となりました。これは売掛金及びたな卸資産が増加したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して20,750千円減少し、当第3四半期連結会計期間末で287,676千円となりました。これは有形固定資産及び無形固定資産が減少したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して50,401千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で253,339千円となりました。これは買掛金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6,284千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で123,192千円となりました。これは役員退職慰労引当金が増加したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して42,320千円減少し、948,744千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の75.6%から71.6%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年2月5日の「平成28年6月期第2四半期決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	455,813	429,662
売掛金	367,867	468,786
たな卸資産	52,018	73,807
未収還付法人税等	14,004	—
その他	117,199	65,781
貸倒引当金	△4,418	△437
流動資産合計	1,002,484	1,037,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	116,462	110,774
機械装置及び運搬具(純額)	47,623	44,258
土地	70,111	70,111
その他(純額)	1,664	1,464
有形固定資産合計	235,862	226,609
無形固定資産		
のれん	23,743	21,648
その他	3,465	2,201
無形固定資産合計	27,208	23,850
投資その他の資産		
その他	46,349	38,643
貸倒引当金	△993	△1,426
投資その他の資産合計	45,355	37,216
固定資産合計	308,427	287,676
資産合計	1,310,911	1,325,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,462	162,230
未払法人税等	15,160	21,205
賞与引当金	1,397	9,979
その他	71,917	59,924
流動負債合計	202,938	253,339
固定負債		
退職給付に係る負債	38,265	40,025
役員退職慰労引当金	75,690	80,067
その他	2,952	3,099
固定負債合計	116,908	123,192
負債合計	319,846	376,532

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	137,397	95,614
自己株式	△90	△90
株主資本合計	990,807	949,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258	△280
その他の包括利益累計額合計	258	△280
純資産合計	991,065	948,744
負債純資産合計	1,310,911	1,325,277

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	4,312,153	3,790,103
売上原価	3,612,192	3,144,475
売上総利益	699,960	645,627
販売費及び一般管理費	630,982	625,995
営業利益	68,978	19,632
営業外収益		
受取利息	692	598
貸倒引当金戻入額	—	3,548
その他	1,325	2,789
営業外収益合計	2,018	6,936
営業外費用		
支払利息	234	119
営業外費用合計	234	119
経常利益	70,762	26,450
特別利益		
固定資産売却益	159	—
特別利益合計	159	—
特別損失		
固定資産除却損	69	4
特別損失合計	69	4
税金等調整前四半期純利益	70,852	26,445
法人税等	29,009	56,799
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,843	△30,353
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	41,843	△30,353

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,843	△30,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143	△538
その他の包括利益合計	143	△538
四半期包括利益	41,986	△30,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,986	△30,891
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	3,151,001	33,656	1,070,627	56,867	4,312,153	—	4,312,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	654	145,766	146,421	△146,421	—
計	3,151,001	33,656	1,071,281	202,633	4,458,574	△146,421	4,312,153
セグメント利益	121,571	4,022	66,728	9,956	202,279	△133,301	68,978

(注) 1. セグメント利益の調整額△133,301千円には、セグメント間取引消去557千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,858千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	2,613,561	31,836	1,081,678	63,026	3,790,103	—	3,790,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	142,946	142,946	△142,946	—
計	2,613,561	31,836	1,081,678	205,972	3,933,049	△142,946	3,790,103
セグメント利益	50,882	3,626	81,309	14,378	150,196	△130,563	19,632

(注) 1. セグメント利益の調整額△130,563千円には、セグメント間取引消去249千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,812千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。